

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-129079

(P2007-129079A)

(43) 公開日 平成19年5月24日(2007.5.24)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
HO1F 1/11 (2006.01)	HO1F 1/11 A	5E040
HO1F 1/06 (2006.01)	HO1F 1/06 A	5E062
HO1F 41/02 (2006.01)	HO1F 41/02 G	

審査請求 未請求 請求項の数 18 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2005-320707 (P2005-320707)	(71) 出願人	304028346 国立大学法人 香川大学 香川県高松市幸町1番1号
(22) 出願日	平成17年11月4日(2005.11.4)	(74) 代理人	100080539 弁理士 高木 義輝
		(72) 発明者	小川 一文 香川県高松市林町2217番地20 国立 大学法人香川大学工学部内
		Fターム(参考)	5E040 AA11 CA01 HB14 HB17 5E062 CF01 CG03

(54) 【発明の名称】 磁性微粒子とその製造方法およびそれらを用いた磁石とその製造方法

(57) 【要約】

【課題】

従来の磁性微粒子を焼結した磁石では、高温で焼結するため磁性粒子の磁気特性が劣化して高性能な磁石は得られなかった。また、樹脂中に磁性微粒子分散固化したプラスチック磁石では、樹脂をバインダーにしているため弾力性は持っているが、磁化強度に優れた磁石は得られなかった。

【解決手段】

本発明は、第1の反応性を備えた磁性微粒子と第2の反応性を備えた磁性微粒子を混合し鋳型に入れて加圧加温反応させることにより、第1の有機薄膜で被われた磁性微粒子と第2の有機薄膜で被われた磁性微粒子が混合されて互いに前記有機薄膜を介して共有結合して固化成形されている磁石を提供する。

【選択図】 図2

